

NOFアッセイ用試薬シリーズ

免疫学的測定用ブロッキング試薬 N101、N102 BLOCKING REAGENT-N101, N102

NOFアッセイ用試薬は、合成ポリマーを主成分とし、動物由来の物質を一切含まないため、動物に起因する感染（狂牛病など）等の危険性が全くありません。合成ポリマーが主成分であるため性能に対するロット間差はほとんどなく、また、煮沸・オートクレーブ滅菌が施せ、滅菌、DNaseの失活が可能となります。更に、凍結、振盪等に対しても特に高い安定性を有しています。



製品名	容量	希望納入価格
ブロッキング試薬 N101	500mL	お問合せ下さい
N102	500mL	

 **日油株式会社**
ライフサイエンス事業部

本社 〒150-6019 東京都渋谷区恵比寿4-20-3(恵比寿ガーデンプレイスタワー)
TEL: (03)5424-6771 FAX: (03)5424-6802 URL: <http://www.nof.co.jp>

NOFアッセイ用試薬シリーズ

免疫学的測定用ブロッキング試薬 N101、N102 BLOCKING REAGENT-N101, N102

特徴

- 合成ポリマーの分子構造が異なる**N101**と**N102**の2種類の製品があります。
- 非特異的吸着の抑制に優れた効果を発揮します。
【図1】
- 担体へ固定化した生理活性物質の安定化に対して優れた効果があります。【図2】
- 2種類の製品は、弊社による評価で比較すると、**N101**が安定化能、**N102**は非特異的吸着抑制能に優れたデータを得ておりますが、個別の系で実際にお試しいただくことをお勧めします。
- 液状品ですので希釈後すぐに使用できます。
- サンプル希釈液、洗浄液としても使用できます。
- Tween 20に対しても高い安定性があります。【図3】

使用方法

- 原液～5倍希釈して使用して下さい。希釈には、イオン交換水あるいは蒸留水を使用して下さい。
- 通常ご使用のブロッキング試薬と混合しての使用も可能です。
- ブロッキング効果はブロッキング後15分程度（室温）から発揮されますが、担体へ吸着させた生理活性物質を安定化する場合、より長時間のブロッキングおよびプレートの乾燥処理を推奨いたします。
- 希釈液として使用する場合、原液～1000倍希釈、洗浄液として用いる場合はイオン交換水等で100倍以上希釈してご使用ください。

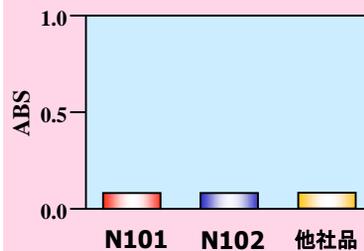
保存方法

- 本試薬は冷暗所（2-8℃）で保存してください。

使用上の注意

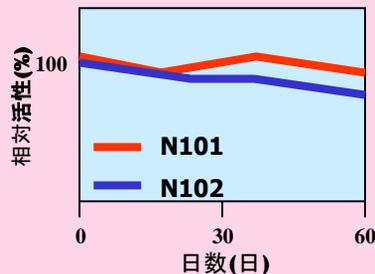
- 本試薬には防腐剤として0.1%アジ化ナトリウム（原液）が含まれています。ペルオキシダーゼ複合体の希釈液としては使用できません。
- ご使用になる測定系、配合などによっては十分な性能を発揮できない場合があります。

【図1】 非特異的吸着抑制効果



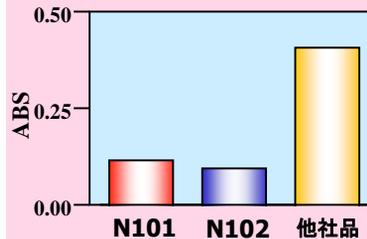
5倍希釈した各試薬で、高吸着型イムノプレートブロッキング（室温15～60分）後、酵素標識抗体液（PBS希釈液）を分注し、37℃で120分間反応させた。0.05%のTween 20を含有するPBSで洗浄し、発色反応を吸光度測定した。

【図2】 固定化抗体安定化効果

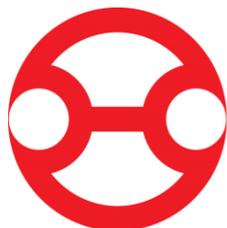


抗体を高吸着型イムノプレートに固定化し、ブロッキング（5倍希釈・室温・120分）を行った。脱気包装（アルミパック）後、50℃のインキュベーターで保存、所定の日数経過後、標準液を用いたELISA反応を行い、吸光度を測定した。

【図3】 対界面活性剤性能



高吸着型イムノプレートにブロッキング（5倍希釈・室温15～60分）後、0.05%のTween 20を含有するPBSで希釈した酵素標識抗体液を分注し、37℃で120分間反応させた。0.05%のTween 20を含有するPBSで洗浄後、発色反応を行い、吸光度を測定した。



日油